

2016 年度

アメリカ留学報告書

留学先：ノースウエストミズーリ州立大学

留学期間：8月25日（木）～12月17日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21015079
玉木 幸恵

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	3
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	4
5	所感	6 - 7
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	留学日誌	7 - 8
--	------	-------

1 留学先及び実習期間

留学先：ノースウエストミズーリ州立大学 English as Second Language

研修期間：平成 28 年 8 月 25 日（木）～平成 28 年 12 月 17 日（土）

※帰国は 12 月 18 日（日）

2 留学先概要

(1)大学について。

ノースウエストミズーリ州立大学は、メリービルという人口約 11,000 人という比較的小さく、自然豊かな土地に位置している。キャンパス内では自転車やスケートボードを使って移動する生徒がみられるほど、広大な土地である。この大学には約 7,000 人もの生徒が在籍しており、127 種類の学部がある。サークルやスポーツ活動も充実しており、特にアメリカンフットボールのチームが強く、大学内には大きなスタジアムが完備している。試合の日には大勢の観客が詰め寄せ、活気に満ち溢れている。

(2)大学で行われている教育について

ノースウエストミズーリ州立大学には、英語圏外の人々を対象とした「English as Second Language」（以下 ESL）というプログラムがある。ここでは A クラスと B クラスがあり、能力に応じてクラス分けされる。ここでは日本人生徒だけではなく韓国・中国・サウジアラビア・メキシコなど多国籍な生徒が在籍している。基礎的な学習はもちろん、同世代の英語圏の生徒と関わる機会も設けられており、教科書と向き合った勉強方法だけでなく、生きた英語と触れ合うことも出来る。

3 留学目的

今回の留学目的は、リスニング・スピーキング力の向上と異文化理解である。いくら日本で英語を勉強したところでそれはあくまで型にとらわれた英語であり、本当に使える英語は学べないのではないかと感じた。英語教材の CD のような会話ではなく、生身の人間と会話し、自分の会話能力を向上することを目的とした。間違えた英語を使えば伝わらない、正しい英語を使えば伝わる、そういった経験をすれば教科書では得ることの出来なかった知識や表現が得られるだろう。また、若者の間で移り行く言葉は現地の学生と触れ合う機会がなければ知ることは難しいだろう。

さらに現代社会は国際化しており、他国に対しての知識や言語力が求められている。このことから日本という小さな島に閉じこもっているだけでなく、様々な国独自の生活習慣や常識の違いなどを感じ取る必要がある。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	内容
8	24 (水)	到着・入寮
	25 (木)	オリエンテーション
	27 (土)	
	29 (月)	通常授業
9	15 (水)	通常授業
	16 (金)	Field Trip
	19 (月)	通常授業
10	7 (金)	通常授業
	10 (月)	中間試験
	14 (金)	
	19 (水)	通常授業
	26 (水)	通常授業
11	31 (月)	通常授業
	22 (火)	通常授業
	23 (水)	ThanksGiving Brake
	27 (日)	
28 (月)	通常授業	
12	9 (金)	通常授業
	12 (月)	期末試験
	13 (火)	
	15 (木)	ESL party

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

	月	火	水	木	金
1	Reading/Writing	Reading/Writing	Reading/Writing	Reading/Writing	
2	Reading/Writing	Reading/Writing	Reading/Writing	Reading/Writing	
3	Grammar	Grammar	Grammar	Grammar	
	昼休憩				
4	Listening/Speaking	Listening/Speaking	Listening/Speaking	Listening/Speaking	TOEIC
5	NUIS project	TOEIC preparation	American Culture	TOEIC preparation	

※その他：課外活動として、Conversation Partner・Activity Buddy・Meeting with Momの活動（各週1回）。

i) Reading/Writing

1ユニット3パートに分かれた長文を各パートごとに読み、内容を理解していくのが主な内容。文中で鍵となる単語や数値を読み取る練習を重ねることで、速読のスキルを高めていった。また、接続語や文頭の語句などから、その文が何を示しているのかを学ぶことが出来る。

ii) Grammar

主に文法の授業。内容は中学・高校レベルであるが、より深いところまで学ぶことが出来る。基本的に教科書にある問題を解いて、生徒が発言し、答え合わせをする。授業後の課題は myelt という laptop 上で行うものである。

iii) Listening/Speaking

CDを聴いて、それがどのような内容なのかを理解する授業。ただリスニングをするだけでなく、その内容についても学ぶので知識もつく。また、授業中に近くの席の生徒同士で話す機会もあるので、会話力の向上にも繋がる。

iv) NUIS project

国情生全員が大学や自身の友人などについて映像を撮り、ナレーションやテロップをつけて、最終的には1つの映像にまとめるというプロジェクト。

v) TOEIC preparation

TOEIC受験に向けて、解答のコツやポイントの指導や実際の問題を使った練習などがメインで行われる。ひとりで考えるのはもちろん、近くの人と話し合っって解答を考え出す場面もある。授業後には TOEIC 特有の単語リストが配られ、毎週火曜日には単語テストが行われる。

vi) American Culture

アメリカの生活習慣やスポーツ、政治について理解を深める授業。生徒が6グループに分かれて各自パワーポイントを使い、そのグループのテーマに沿って発表をする。また、大学内の生徒や教師が出向いて授業をすることもある。

vii) TOEIC

毎週ではないが、金曜日に TOEIC を受けることがある。

viii) Conversation Partner

国情生 2 人と現地の学生 1 人の 3 人で週 1 回 1 時間話すというプログラム。内容・場所・時間などは決められておらず、各自で連絡を取り合う必要がある。学生ならではの表現や若者言葉を知ることができる。また、このプログラム内だけではなく、仲良くなれば自宅へ行ったり、出かけたりする機会を作ることも出来る。

ix) Activity Buddy

国情生 1 人に対し現地の学生 2 人が付いて、学内イベントに参加するという今年度から始まった新しいプログラムである。日本人学生は 1 人なので、かなりの会話力が求められる。

x) Meeting with Mom

毎週水曜日の放課後、ベリンダさんと国情生 3, 4 人で 15 分ほど話す。内容は最近起きたことなど世間話のようなものが多い。ベリンダさんには授業や課外活動、生活面など不安なことや疑問点などを相談したりすることもでき、とても親身に接してくれる。

xi) ThanksGiving Brake

アメリカの大型連休。この休み期間中は寮も閉まるため、FIS Family というホストファミリーの家に国情生 2 人でお世話になる。寮生活とは違ったアメリカの一般家庭での暮らしを体験することができる。

xii) ESL party

Foot 先生から修了証書が渡され、その後食事を取ったり、音楽や映像を流した。この日、現地で仲良くなった学生や FIS Family との別れを惜しんだ生徒が沢山いたであろう。

xiii) Field Trip

9 月と 10 月にクラス全員で行く遠足のようなもの。アメリカの動物園・ショッピングモール・美術館などに行くことが出来る。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) リスニング・スピーキング力を向上すること

何をするにも英語を使う状況下であり、日本で英語教師の授業を受けるよりも確実にリスニング・スピーキング力は向上したといえる。これは CP 制度があったおかげである。

ii)異文化を理解すること

アメリカ文化はもちろんのこと、クラスメイトの韓国人からも異文化を学んだ。アメリカ文化について誰かに聞くこともあったが、3ヵ月半という期間で文化の違いを体験することが出来た。

6 反省・課題

この留学では語学力の向上だけでなく、クラスメイトや ESL の生徒に携わって頂いたたくさんの方々との交流ができ、とても貴重な体験であった。留学で築いた友好関係や語学力をここで終わらせるのではなく、これからは繋げでいきたい。

謝辞

今回、ESL において親身になって指導してくださった Helen Konstantopoulos さん、ESL の先生でありホストファミリーである、Nancy Hardee さん、Tom Hardee さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の留学担当で2016年度前期の授業、留学の現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、矢口裕子先生、藤本直生先生、小林伊織先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：留学日誌

現地での授業は朝の9時から始まる50分授業5コマである。Reading/Writing では教科書を使い、速読・キーワード探し・単語の理解をメインに授業が進む。内容の理解よりも文章の構成などを理解することが求められる。Grammar の授業では、先生からの解説があった後、教科書の問題を解いて答え合わせをする。クラスメイトと話し合っただけで答えを見つけるような場面も多々ある。Listening/Speaking の授業はその名の通りの内容である。何回か、クラスメイトの前でスピーチで発表する機会も設けられている。NUIS project は学内の施設や友人など、インタビューして映像にまとめるというものである。TOEIC preparation は TOEIC に向けて単語やよく出る形式などの練習をする授業である。American Culture はアメリカの生活的な文化などの理解を深めるための授業である。6グループに分かれて各グループ自分たちに与えられたトピックについて発表する。毎週金曜日は基本的に休みであるが、午後から TOEIC がある週もある。



